

別紙 1-2 市町村調査票

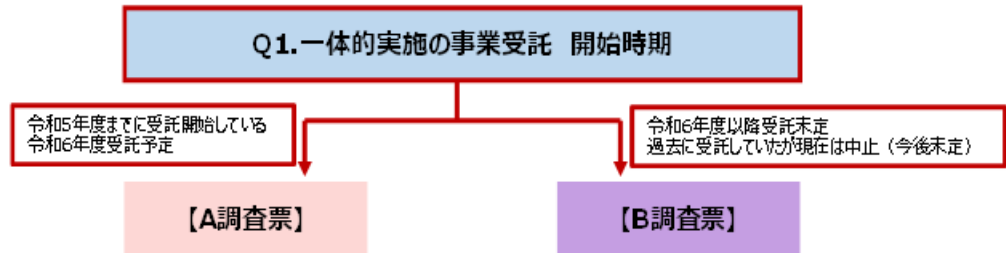
「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」－市町村票－

【調査の目的】

令和5年度時点における、最新の実施状況や、実施段階ごとの課題等の把握を行い、事業の更なる充実、円滑な実施に向けて求められる支援等の内容を明らかにすることを目的として、全ての市町村を対象に実施するものです。

【調査項目】

本調査は、次の7項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いします。
一体的実施の受託開始時期により、回答する調査票が異なりますのでご注意ください。



【共通】 1. 一体的実施の受託の状況・ 取り組み体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 企画・調整を行う担当者の人数・確保の工夫 ● 一体的実施に関連する組織体制 ● 関係機関との連携状況
【固有】 2. A) 一体的実施の実施状況 B) 一体的実施の事業実施に向 けた準備状況等	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業（ハイリスクアプローチ/ポピュレーションアプローチ）の実施状況、実施体制、内容、評価指標 ● 実施上の課題 ● 地域の専門職の人数 ● 目標の設定状況 ● 実施している事業の評価の取組状況 ● 一体的実施の実施後の課題と対応 ● 実施による効果 ● ICTの活用状況
【共通】 3. 他組織からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 準備状況と課題 ● 検討状況 ● 受託に向けて必要な支援 ● 国保保健事業 ● 介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業） ● 高齢者保健事業
【共通】 4. 第3期データヘルス計画に基 づく事業実施への助言について	<ul style="list-style-type: none"> ● 受けている支援・有効だった支援 ● 今後求める支援
【共通】 5. 後期高齢者の質問票の使 用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域連合からの第3期データヘルス計画に関する説明・支援 ● 後期高齢者の健康診査 ● 後期高齢者の健診対象除外者
【共通】 6. KDBの活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用状況・使用方法・保管状況 ● データ化の状況 ● 使用していない理由
【共通】 7. ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用状況 ● 活用上の課題
【共通】 7. ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 「一体的実施・KDB活用支援ツール」の活用状況 ● 「解説書（抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1）」の活用状況

【ご回答にあたって】

- ※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。
- ※本調査は、特に注意書きがない場合は、**令和5年11月現在**での状況についてお答えください。
- ※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等をご遠慮ください。
- ※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPにて公表予定です。

<回答欄について>

- 単一回答のセル： … プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください
 - 複数回答のセル： … 当てはまるもの**すべてに「○」**を入れてください
 - 自由記載のセル： … 数字や文字列（文書）などを記載して回答してください
- ※グレーで網掛けになっているセルは一定の条件を入力すると回答できる仕組みになっています

【回答期限】

2023年12月14日（木）

【提出方法】

本調査票（Excel）にご回答後、回答漏れ等がないかご確認のうえ、広域連合宛にご提出ください。

【お問い合わせ先】

（株）三菱総合研究所 担当：馬杉、日向、柿沼、中村、望月

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

TEL：0120-901-479（平日10-17時 ※12-13時除く） FAX：03-5157-2143

MAIL：ittaiteki-survey2023@ml.mri.co.jp□

回答者情報、一体的実施の受託状況をご入力の上、該当する「調査票」シートにお進みください。

■ 回答者情報

- 都道府県及び市町村名についてお答えください。※プルダウンからお選びください

都道府県名	
市町村名	
保険者番号(8桁)	
日常生活圏域数	

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。

回答部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■ 一体的実施の事業受託開始時期

Q1. 一体的実施に関する広域連合からの事業受託開始時期についてお答えください。

受託開始時期		ご回答いただく調査票の種類
1. 令和5年度までに受託開始している	⇒	「【A】調査票」シートにご回答ください。
2. 令和6年度受託予定		
3. 令和6年度以降受託未定	⇒	「【B】調査票」シートにご回答ください。
4. 過去に受託していたが、現在は中止（今後も未定）		

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査—市町村票【調査票A】—

1. 一体的実施の受託の状況・取組体制

【一体的実施に関わる庁内組織についてお伺いします】

- Q2. 一体的実施について**企画・調整を行う担当者**の職種別人数（実人数とし常勤換算等は不要）をお答えください。
 なお、人件費が特別調整交付金の対象になっているか否かに関わらず、実態を回答してください。（数値を入力）
 ※既定値は0人に設定されています。

職種	人数	左記のうち、他業務と兼務している担当者の人数
医師	0名	0名
保健師	0名	0名
管理栄養士	0名	0名
その他（ ）	0名	0名
合計（自動計算）	0名	0名

Q2-1. 企画・調整を行う医療専門職の確保にあたり、工夫した点があればお答えください。

- 1 専任でなく兼務での配置
- 2 採用、増員
- 3 健康増進部門等からの異動で対応
- 4 既存業務の見直し
- 5 組織体制変更
- 6 保健師の配置見直し
- 7 管理栄養士の配置見直し
- 8 その他（ ）

- Q3. 一体的実施に関連する業務の関係部署を挙げ、担当業務や連携内容について該当するものをお答えください。
 （複数回答）

部署名(※1)	担当業務(※2)				一体的実施に関する連携内容(※3)						
	療・保 険 国 民 務 健 （ 後 期 高 齢 者 医 	保 健 衛 生	介 護 保 険	そ の 他	法 事 の 業 検 討 実 施 体 制 ・ 内 容 ・ 方	報 事 を 業 共 有 実 施 状 況 に つ い て 情	い 事 業 運 営 ・ 実 施 に 参 画 し て	の 事 業 検 討 に 実 施 上 の 課 題 や 対 策	地 域 の 課 題 に 共 有 の 課 題 や 対 策	そ の 他 の 連 携	
主担当											
連携 部署											

※1 最初の行に、一体的実施の主担当部署を記入してください。
 ※2 直営の地域包括支援センターについては、介護保険担当の連携部署としてご記入ください。
 ※3 1行目の主担当部署と連携している内容について該当するものをお答えください。

- Q4. 市町村の医療専門職の不足が課題となっていることに対して、国からの必要な支援をお答えください。

- 1 特別調整交付金の交付基準の変更
- 2 医師会・看護協会・栄養士会等の関係団体に対する自治体協力の依頼
- 3 人材確保・人材育成における諸制度の推進・体制整備
- 4 その他（ ）

【関係機関との連携についてお伺いします】

- Q5. 庁外の関係機関との一体的実施に関する連携内容をお答えください。（複数回答）
 いずれの連携も行っていない場合は「**連携なし**」に○をつけてください。

	一体的実施に係る連携内容
--	--------------

関係機関	情報の共有	健康課題の分析への参加	実施方法・体制検討への参加	事業実施への参加（委託を含む）	事業等への医療専門職等の派遣	勉強会・セミナー等の講師派遣	研究会・会議への参加	事業の評価への参加	その他の連携	連携なし
① 広域連合										
② 都道府県										
③ 国保連合会										
④ 医師会										
⑤ 歯科医師会										
⑥ 薬剤師会										
⑦ 看護協会										
⑧ 栄養士会										
⑨ リハビリ職能団体※1										
⑩ 歯科衛生士会										
⑪ 医療機関										
⑫ 地域包括支援センター※2										
⑬ 社会福祉協議会										
⑭ 大学・研究機関等										
⑮ 商工会議所・商工会										
⑯ その他 ()										

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等
 ※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由回答）

Q6. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

- i) 連携が十分に図られているか、また、
- ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。（自由回答）

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか	ii) 連携にあたり工夫したこと
① 広域連合		
② 都道府県		
③ 国保連合会		
④ 医師会		
⑤ 歯科医師会		
⑥ 薬剤師会		
⑦ 看護協会		
⑧ 栄養士会		
⑨ リハビリ職能団体		
⑩ 歯科衛生士会		
⑪ 医療機関		
⑫ 地域包括支援センター		

⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合

服薬に関わる相談・指導																							
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導																							
生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導																							
健康状態不明者の状態把握、必要なサービスへの接続																							
重複頻回受診者への相談・指導																							
その他①（ _____ ）																							
その他②（ _____ ）																							

■評価指標において「その他」の評価指標をもつ場合は具体的な指標をお答えください。（自由回答）

Q8-2 ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなデータを利用していますか。（複数回答）

- 1 一体的実施・KDB活用支援ツール
- 2 健診結果（後期高齢者の質問票以外）
- 3 健診時に取得した後期高齢者の質問票
- 4 基本チェックリスト
- 5 市町村独自のアンケート調査等
- 6 医療、介護のレセプトデータ
- 7 その他（ _____ ）

Q8-3 ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなツールを利用していますか。（複数回答）

- 1 KDB
- 2 一体的実施・KDB活用支援ツール
- 3 その他保健指導システム（具体的な名称 _____ ）
- 4 その他（ _____ ）
- 5 特にツールは使っていない（エクセル等）

Q9. 実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。（複数回答）

- 1 対象者の抽出基準・選定方法の決定
- 2 目標・評価指標の設定
- 3 対象者の抽出・リストアップ（KDBシステムの活用等を含む）
- 4 医療機関との連携・調整
- 5 他の部課室の事業等の活用
- 6 予算の確保
- 7 企画・調整を行う医療専門職の確保
- 8 地域を担当する医療専門職の確保
- 9 保健指導に係るノウハウ・知識不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 参加者への周知
- 13 保健指導指導後のフォローアップ
- 14 事業実施後の評価・改善策の立案
- 15 その他（ _____ ）
- 16 課題はない

【ポピュレーションアプローチについてお伺いします】

Q10. 今年度中の実施の有無（実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」）、実施体制をご記入ください。

実施項目		実施の有無	委託により実施（市町村から外部機関への委託（一部委託含む）で実施）
フレイル予防の普及啓発	健康教育	運動	
		栄養	
		口腔	
		その他（ _____ ）	
	健康相談	運動	
		栄養	
		口腔	
	その他（ _____ ）		
フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等			
健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりの実施			
その他（ _____ ）			

【Q10で、一つでも実施「○」と回答した市町村にお伺いします】

Q11. 実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。（複数回答）

- 1 目標・評価指標の設定
- 2 他の部課室の事業等の活用
- 3 通いの場に係る情報収集
- 4 通いの場の担い手との連携

- 5 通いの場との関わり方
- 6 参加者への周知
- 7 予算の確保
- 8 医療専門職の確保
- 9 健康教育等や個別支援への接続に関するノウハウ・知識の不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 指導結果のフォロー
- 13 事業実施後の評価・改善策の立案
- 14 その他 ()
- 15 課題はない

【すべての市町村に、ハイリスクアプローチ/ポピュレーションアプローチの双方についてお伺いします】

Q12. ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチに、地域で実施に関わっている専門職別の人数（実人数とし常勤換算等は不要）と、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチごとの関与の有無をお答えください。
 （委託先における専門職の人数は除く）※規定値は0人になっています

職種	A 地域で保健事業に関 わる専門職の総数	B/C	
		Bうち、ハイリスクアプ プローチに関 わる人員の有無	Cうち、ポピュレーションア プローチに関わる人員の有無
医師	0名		
歯科医師	0名		
保健師	0名		
看護師	0名		
管理栄養士	0名		
栄養士	0名		
歯科衛生士	0名		
薬剤師	0名		
理学療法士	0名		
作業療法士	0名		
言語聴覚士	0名		
その他(<input type="text"/>)	0名		

Q13. ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの目標の設定状況についてお答えください。（複数回答）

ハイリス クアプ ローチ	ポピュ レー ションア プ ローチ	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 市町村担当部署独自に設定している
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2 市町村の他部門共通で設定している
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 広域連合から示されたものを用いている
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 他の市町村と連動して設定している
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 その他 (<input type="text"/>)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 特に設定していない

【Q14~17は令和5年度までに受託開始している市町村のみお答えください】

Q14. 事業の評価として行ったことをお答えください。（複数回答）

- 1 庁内連携の状況の確認・課題の抽出
- 2 地域の関係機関・関係団体との連携の状況の確認・課題の抽出
- 3 事業の実施量（実施回数・参加人数等）を用いた分析
- 4 参加者・対象者の満足度・意見に関する分析
- 5 参加者・対象者の状態像の変化の分析
- 6 成果指標（医療費、要介護認定率等）の変化の分析
- 7 報告書での成果の確認（市町村からの委託の場合）
- 8 定性的な成果の分析（成果の内容：）
- 9 その他()
- 10 事業開始間もないため評価ができない
- 11 評価を実施していない

Q15. 事業の評価の活用、事業報告の状況についてお答えください。（複数回答）

- 1 広域連合と評価結果について情報共有し、改善策等を検討した
- 2 庁内の関係部局間で事業評価を共有した
- 3 関係機関・関係団体に事業評価を共有した
- 4 住民に対して、事業の意義や成果について周知・広報した
- 5 事業評価を踏まえ、次年度の事業の実施計画へ反映した
- 6 事業評価を踏まえ、データヘルズ計画等へ反映した
- 7 その他 ()
- 8 事業評価はしたが、結果を活用していない

Q16. 事業実施後に事業の企画・運営上、課題として挙げたこと、挙げられた課題に対して対策・見直しを講じたかどうか（講じた場合は○、講じていない場合は×）と、対策・見直しを講じた場合の具体的な主な内容（自由回答）をお答えください。

課 題	課題として 挙げた	対策・見直し を講じた	対策・見直しを講じた主な内容
事業対象の抽出基準、選定、優先度のつけ方			
実施体制（検討不足、人員不足等）			
事業の実施方法			
相談・指導の内容			
事業の実施結果の蓄積、活用			
周知の方法や対象者への連絡方法			
その他()			
事業開始間もない／未実施のため、課題整理ができていない			

Q17. 一体的実施に取り組んだことで、これまでにどのような効果があったと感じていますか。（複数回答）

- 1 高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった
- 2 高齢者の保健事業を実施するうえでの後期高齢者医療広域連合との連携ができるようになった
- 3 健康課題が明確化した
- 4 庁内外の関係者間の調整や地域医療関係団体との連携が促進された
- 5 国民健康保険と後期高齢者医療の事業の接続ができる環境が整った
- 6 地域支援事業（介護保険）と後期高齢者医療の事業を一体的に取り組める環境が整った
- 7 事業の効率化が図られた
- 8 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった
- 9 高齢者への個別的な支援が充実した
- 10 通いの場等における健康相談が充実した
- 11 事業目標を課題に基づいて設定できるようになった
- 12 事業評価が推進された
- 13 その他 ()
- 14 特になし

【ICTの活用状況についてお伺いします】

Q18. 保健事業実施にあたり、**ハイリスクアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない

【Q18で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q18-1 どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

Q19. 保健事業実施にあたり、**ポピュレーションアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない

【Q19で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-1 どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

【Q18もしくはQ19で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q20. ICT機器を活用している理由についてご回答ください。（複数回答）

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の質の向上のため
- 3 感染症拡大予防のため
- 4 その他 ()

3. 他組織からの支援

【広域連合からの支援についてお伺いします】

Q21. 広域連合から、何らかの支援を受けたことがありますか。Q22の支援内容を参考に、お答えください。

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q22へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q22のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

Q22. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化が必要な支援、今後受けたい支援の有無について該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。

Q21で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

支援内容	受けた支援		今後受けたい支援
	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	
広域連合との直接対話			
課題分析、実施方法等に関する助言や指導			
特別調整交付金の申請に関わる支援			
広域連合が開催するセミナー・研修会			
研修等への広域連合職員等の派遣			
広域連合による市町村の健康課題の分析			
広域連合を通じた他市町村との連携の調整			
広域連合を通じた医療関係団体との連携の調整			
広域連合からの有識者等の派遣等			
その他()			

■その他、広域連合から今後受けたい支援があればお答えください。(自由回答※任意回答)

Q23. 広域連合のセミナー・研修会等で有効だったテーマをお答えください。(複数回答)

- 1 一体的実施に関する国の動き・制度
- 2 データヘルス計画の内容
- 3 当該都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性について
- 4 当該都道府県内の市町村での高齢者の保健事業と介護予防の現状
- 5 当該都道府県内の市町村毎の健康課題の現状
- 6 高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用
- 7 広域連合及び市町村による事例報告
- 8 その他 ()
- 9 セミナー・研修会等を受けていない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺いします】

Q24. 都道府県・国保連合会等から、令和5年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。Q25の支援内容を参考に、お答えください。

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q25へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q25のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

Q25. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化が必要な支援、今後受けたい支援の有無について、該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。

(都道府県と国保連合会等で共催されている場合等については、都道府県、国保連合会等の両方に記入してください。)

Q23で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

支援内容	都道府県			国保連合会等		
	受けた支援	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	受けた支援	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援
一体的実施に関する国の動きの情報提供、セミナー等						
地域の課題分析手法に関するマニュアル提供、セミナー等						
KDBの活用に関するマニュアル提供、セミナー等						
上記以外のセミナー ※1 (表下の※1にも記入してください)						
保健事業の実施に関する技術的助言・相談						
保健事業の実施のための専門人材の派遣						
医療専門職派遣による指導等						

医療関係団体との調整							
他市町村との調整							
その他 ※2 (表下の※2にも記入してください)							

(※1 上記以外のセミナー :)

(※2 その他 :)

■その他、今後受けたい支援があればお答えください。(自由回答 ※任意回答)

4. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について

【第3期データヘルス計画について、全ての市町村にお伺いします】

Q26. 広域連合が第3期データヘルス計画を策定するにあたって、国から示された方針や手引きの内容等について、広域連合から説明を受けていますか。

-
- 1 受けている
 - 2 受けていない

Q27. 当該広域連合における第3期データヘルス計画の方針や概要について、広域連合から説明を受けていますか。

-
- 1 受けている
 - 2 受けていない

Q28. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への支援（助言や説明、データの提供を含む）を広域連合から受けていますか。

-
- 1 受けている
 - 2 受けていない

【Q28で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q28-1 広域連合からどのような支援を受けていますか。受けた全ての支援について回答ください。(複数回答)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 市町村別の健康課題の提示 |
| <input type="checkbox"/> | 2 国データと広域連合の比較 |
| <input type="checkbox"/> | 3 共通評価指標の提示 |
| <input type="checkbox"/> | 4 その他 (<input type="text"/>) |

Q29. 広域連合が第3期データヘルス計画を策定するにあたって、貴市町村に対して意見具申や調整の機会がありましたか。

-
- 1 機会があった
 - 2 機会がなかった

【Q29で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q29-1. 広域連合に意見具申や調整を求めた内容について具体的にお答えください。(自由回答)

【後期高齢者の健康診査について、全ての市町村にお伺いします (R5年11月1日時点)】

Q30. 健康診査での結果をデータ化して保管していますか。(特定健診等データ管理システム (KDBシステム) 等への登録などを含む)

-
- 1 保管している
 - 2 保管していない

【Q30で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q30-1 データ化した結果の入力先をお答えください。(複数回答)

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 特定健診等データ管理システムへの入力 (KDBシステムへの登録) |
| <input type="checkbox"/> | 2 県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名: (<input type="text"/>)
会社名: (<input type="text"/>) |
| <input type="checkbox"/> | 3 エクセルファイル等への入力 |
| <input type="checkbox"/> | 4 その他 (<input type="text"/>) |

Q30-2 データ登録のタイミングをお答えください。

-
- 1 定期的 → 月に1回
 - 2 不定期 (健診受診者発生ごとなど)

【Q30で、「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q30-3 データ化していない理由をお答えください。(複数回答)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 入力システムの仕様がよくわからない |
| <input type="checkbox"/> | 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難 |
| <input type="checkbox"/> | 3 データ化するタイミングがわからない |
| <input type="checkbox"/> | 4 紙媒体での把握・管理で十分 |
| <input type="checkbox"/> | 5 その他 (<input type="text"/>) |

Q31. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。

-
- 1 実施している
 - 2 実施していない

【Q31で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q31-1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。

-
- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数：）
 - 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数：）
 - 3 把握していない

Q31-2 質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。

-
- 1 質問票を使用する医療機関全てで入力
 - 2 質問票を使用する医療機関の一部で入力
 - 3 質問票を使用する医療機関全てで入力していない（別のシステムへの入力の場合等も含む）
 - 4 把握していない
 - 5 その他（）

Q31-3 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、市町村の工夫についてお答えください。（複数回答）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関への説明会の実施
- 3 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 4 被保険者に対する本人同意についての周知・広報
- 5 その他（）

【Q31で、「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q31-4 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 関係団体・医療機関との調整が困難
- 2 経費の調整が困難
- 3 実施の方法・手順が不明
- 4 本人の同意が得られないと考えたため
- 5 不要と判断したため →（その理由：）
- 6 その他（）

Q31-5 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。

-
- 1 実施に向けて準備中
 - 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中
 - 3 実施の予定はない

【後期高齢者の健診対象除外者について、全ての市町村にお伺いします】

Q32. 健診対象除外者については、後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象※（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。
※「令和6年度以降における後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象となる健康診査事業の対象者等の取り扱いについて」（令和5年4月6日付け事務連絡）参照

-
- 1 令和5年度において同一の対象者である
 - 2 令和6年度以降同一の対象者とする予定である
 - 3 同一の対象者でない（予定も含む）

5. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q33. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。（複数回答）

- 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用）
- 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用）
- 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用）
- 4 通いの場等での健康状態の評価
- 5 保健指導における健康状態のアセスメント
- 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進
- 7 その他（）
- 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指す ⇒Q35へ

【Q33で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q33-1 後期高齢者の質問票をどのように使用や説明をしているかお答えください。（複数回答）

- 1 健診の結果通知表に問診結果が含まれている
- 2 後期高齢者の質問票の回答結果の受診者の控えがある
- 3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している
- 4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している
- 5 その他（）
- 6 受診者へ説明等をしていない

Q34. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。(複数回答)

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管 (KDBシステム等への登録等)
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管 (KDBシステム等への登録等)
- 3 健康診査での結果を紙のまま保管している
- 4 通いの場で活用した結果を紙のまま保管している
- 5 その他 ()
- 6 保管していない ⇒Q36へ

【Q34で、「1」～「5」(後期高齢者の質問票を保管している)と回答した市町村にお伺いします】

Q34-1 後期高齢者の質問票を特定健診等データ管理システムに入力することで質問票データをKDBに搭載できることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らなかった

Q34-2 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。(複数回答)

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用
- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 ()
- 7 保管しているが活用していない

【Q34で、「1」「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q34-3 データ化した結果の入力先をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力 (KDBシステムへの登録)
- 2 県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名: ()
会社名: ()
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 ()

Q34-4 データ登録のタイミングをお答えください。

- 1 定期的 → 毎月 回
- 2 不定期 (健診受診者発生ごとなど)

【Q34で、「3」「4」と回答した市町村にお伺いします】

Q34-5 データ化していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分
- 5 その他 ()

【Q33で、「8 使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q35. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 ()

6. KDBの活用状況

【すべての市町村にお伺いします】

Q36. KDBを活用し、一体的実施以外の目的を含め実施していることをお答えください。(複数回答)

- 1 地域の健康課題の把握
 - 2 指導等対象者の抽出
 - 3 事業実施 (対象者の状況確認等)
 - 4 事業評価
 - 5 その他 ()
 - 6 KDBを活用していない
- ⇒Q36-2.へ
⇒Q36-1.へ

【Q36で、「6 KDBを活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-1. KDBを活用していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 独自のシステムなどを使っている
 - 2 必要な機能がKDBにない
 - 3 保健事業の主管課に端末が設置されていない
 - 4 活用方法がわからない
 - 5 その他 ()
 - 6 KDBを必要とする事業を行っていない
- ⇒Q37へ

【Q36で、「1」～「5」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-2. KDBを活用していると回答した場合その方法をお答えください。(複数回答)

- 1 提供された帳票の参照
- 2 広域連合または国保連合会等による健康課題分析結果等の活用
- 3 KDBのデータの加工分析や他のデータとあわせた分析
- 4 その他 ()

【すべての市町村にお伺いします】

Q37. KDBを活用している場合、KDB活用において課題と感じていることについて、あてはまるものをお答えください。(複数回答)

- 1 活用するためのシステム環境準備
- 2 必要な機能が不足している
- 3 KDBの機能を十分理解して活用することが難しい
- 4 データを二次加工するためのデータ編集に関するスキルが不足
- 5 データの二次加工のための統計分析に関するスキルが不足
- 6 データを見るための保健・医療・介護の専門知識の不足
- 7 個人情報保護に配慮した運用が難しい
- 8 国保と後期の双方のデータを活用した分析が難しい
- 9 一体的実施担当部門において国保または後期または介護のデータの閲覧権限がない
- 10 KDB活用にあたって、日常的かつ細やかに相談できる先・者がいない
- 11 その他 ()
- 12 特になし

7. ガイドライン等の活用状況

Q38. 次の①、②のガイドラインについて、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

① 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000605507.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用していない

■活用していない理由(自由回答 ※任意回答)

② 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版補足版

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000918003.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用していない

■活用していない理由(自由回答 ※任意回答)

以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です

※厚生労働行政推進調査事業補助金(政策科学推進研究事業)(令和5~7年度)

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、市町村名等が特定できる形での公表はございません。

研究班の詳細：https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koreisya05/#kenkyuhoukokusyuo_koreisya

【I. 令和4年に国保中央会よりリリースされた「一体的実施・KDB活用支援ツール」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q39. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 抽出したデータの提供を受けて活用している
- 3 使うことを検討中である
- 4 使う予定はない
- 5 未定

⇒Q40へ

【Q39で、「1」～「3」と回答した市町村にお伺いします】

Q39-1 どのような場面で使っていますか(使おうとしていますか)。(複数回答)

- 1 事業計画(各事業対象者の概数把握)
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他 ()

Q39-2 一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版(国保中央会作成)を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない

3 マニュアルがあることを知らなかった

【Q39で、「3」「4」と回答した市町村にお伺いします】

Q39-3 一体的実施・KDB活用支援ツールを使用していないが、ツールと同一条件による抽出を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【Ⅱ. 研究班が作成した解説書（抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1）について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q40. 一体的実施の保健事業計画や、一体的実施・KDB活用支援ツール活用の上で、本解説書は役に立っていますか。

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

⇒調査は終了です。エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください

【Q40で、「1」～「4」と回答した市町村にお伺いします】

Q40-1 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。

■解説書について、お気づきの点（自由回答 ※任意回答）

以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。
フェイスシートで、エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください

⑪	医療機関																			
⑫	地域包括支援センター※2																			
⑬	社会福祉協議会																			
⑭	大学・研究機関等																			
⑮	商工会議所・商工会																			
⑯	その他 ()																			

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等

※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由回答）

Q6. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

- i) 連携が十分に図られているか、また、
- ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。（自由回答）

(関係機関)		i) 連携が十分に図られているかどうか	連携にあたり工夫したこと
①	広域連合		
②	都道府県		
③	国保連合会		
④	医師会		
⑤	歯科医師会		
⑥	薬剤師会		
⑦	看護協会		
⑧	栄養士会		
⑨	リハビリ機能団体		
⑩	歯科衛生士会		
⑪	医療機関		
⑫	地域包括支援センター		
⑬	社会福祉協議会		

⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合

⑭ 大学・研究機関等		
⑮ 商工会議所・商工会		
⑯ その他		

2. 一体的実施の事業実施に向けた準備状況等

Q7. 一体的実施の受託に向けた課題について該当するものをお答えください。

※課題となっている・課題と感じている場合には「○」、課題になっていない・課題とは感じていない場合には「×」を選択してください。

	課題
① 広域連合との調整	
a. 一体的実施の事業内容・実施の方針の調整	
b. 広域連合との調整の機会の設定	
② 方針策定等	
c. 市町村が策定する基本的な方針の策定	
d. 事業の準備の手順や作業内容の明確化	
e. データヘルス計画や介護保険事業計画等既存計画との整合性の確保	
③ 課題分析、企画	
f. 地域の課題分析ができる人材の確保	
g. 地域の課題分析のためのデータ入手や分析環境の確保	
h. 地域の課題分析の方法の確定等	
i. 地域の課題の把握	
j. 地域の課題に応じた事業の企画・立案	
④ 体制構築	
k. 庁内の関係部署の連携体制構築	
l. 庁内関係部署との一体的実施の受託時期の合意形成	
m. 庁内関係部署との事業内容等に係る合意の形成	
n. 企画・調整を担当する医療専門職の確保	
o. 地域を担当する医療専門職の確保	
p. 庁外の関係機関との連携体制の構築	
q. 庁外の関係機関との事業内容等に係る合意の形成	
⑤ 実施場所・実施圏域	
r. ハイリスクアプローチの実施の調整	
s. ポピュレーションアプローチの実施の調整・通いの場等との事業内容の調整	
⑥ その他	
t. その他 ()	

Q8. 令和5年度末時点で一体的実施を受託していない理由についてお答えください。（複数回答）

<input type="checkbox"/>	1 主担当の部署が定まらない
<input type="checkbox"/>	2 施策として優先度が低い
<input type="checkbox"/>	3 他の施策で取り組んでいる（他の財源を利用している）
<input type="checkbox"/>	4 交付基準上一体的実施として認められていないが類似した取組を行っている
<input type="checkbox"/>	5 関係部署間での合意形成ができていない
<input type="checkbox"/>	6 他の自治体の取組状況を参照してから取り組みたい
<input type="checkbox"/>	7 企画・調整を担当する医療専門職が決まらない
<input type="checkbox"/>	8 地域を担当する医療専門職の確保が困難
<input type="checkbox"/>	9 適切な外部委託先がない
<input type="checkbox"/>	10 実施のための施設や設備等が確保できない
<input type="checkbox"/>	11 国の特別調整交付金の継続性が不明確
<input type="checkbox"/>	12 国の特別調整交付金の交付基準が不明確
<input type="checkbox"/>	13 その他 ()

Q9. 一体的実施の受託に関する検討状況についてお答えください。

<input type="checkbox"/>	1 受託に向けた検討をしている
--------------------------	-----------------

- 2 受託に向けた検討をしていないが、今後検討する予定
- 3 受託に向けた検討をする予定がない

Q9-1 後期高齢者医療の調整交付金の交付を受けたいと考えていますか。

- 1 考えている
- 2 考えていない

Q9-2 一体的実施の受託に向けて、どのような支援があれば開始できるかお答えください。（複数回答）

- 1 企画調整を行うものの配置
- 2 計画書作成の支援・契約書の策定
- 3 人員派遣
- 4 民間事業者の紹介
- 5 ICTによる遠隔指導の導入
- 6 その他 ()

Q10. 市町村では、どのような国保保健事業を行っていますか。（複数回答）

- 1 特定健診・特定保健指導
- 2 糖尿病性腎症重症化予防
- 3 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進
- 4 その他 ()
- 5 行っていない

Q11. 市町村では、どのような介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）を行っていますか。（複数回答）

- 1 介護予防把握事業
- 2 介護予防普及啓発事業
- 3 地域介護予防活動支援事業
- 4 一般介護予防事業評価事業
- 5 地域リハビリテーション活動支援事業
- 6 介護予防・生活支援サービス事業
- 7 生活支援体制整備事業
- 8 その他 ()
- 9 行っていない

Q12. 市町村では、どのような高齢者保健事業を行っていますか。（複数回答）

ハイリスクアプローチ	ポピュレーションアプローチ	保健事業
—	—	<input type="checkbox"/>
—	—	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—

- 1 健診
- 2 歯科健診
- 3 低栄養
- 4 口腔
- 5 糖尿病性腎症重症化予防
- 6 重複多剤
- 7 身体的フレイル
- 8 健康状態不明者対策
- 9 その他 ()

「※後期高齢者医療の調整交付金の交付額の算定に関する省令第6条第9号に関する交付基準について（令和5年4月7日付け）に示す個別的支援（ハイリスクアプローチ）及び通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）の取組に限らず、類似した取組も含む」

【ICTの活用状況についてお伺いします】

Q13. 保健事業実施にあたり、ハイリスクアプローチを実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない

【Q13で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q13-1 どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施

- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

Q14. 保健事業実施にあたり、**ポピュレーションアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない

【Q14で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q14-1 どのようなICT機器の活用を行っていますか。(複数回答)

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

【Q13もしくはQ14で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q15. ICT機器を活用している理由についてご回答ください。(複数回答)

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の質の向上のため
- 3 感染症拡大予防のため
- 4 その他 ()

3. 他組織からの支援

【広域連合からの支援についてお伺いします】

Q16. 広域連合から、令和5年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺いします】

Q17. 都道府県・国保連合会等から、令和5年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

4. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について

Q18. 広域連合が第3期データヘルス計画を策定するにあたって、国から示された方針や手引きの内容等について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q19. 当該広域連合における第3期データヘルス計画の方針や概要について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q20. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への支援（助言や説明、データの提供を含む）を広域連合から受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

【Q20で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q20-1 広域連合からどのような支援を受けていますか。受けた全ての支援について回答ください。（複数回答）

- 1 市町村別の健康課題の提示
- 2 国データと広域連合の比較
- 3 共通評価指標の提示
- 4 その他（ ）

Q21. 広域連合が第3期データヘルス計画を策定するにあたって、貴市町村に対して意見具申や調整の機会がありましたか。

-
- 1 機会があった
 - 2 機会がなかった

【Q21で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q21-1. 広域連合に意見具申や調整を求めた内容について具体的にお答えください。（自由回答）

【後期高齢者の健康診査について、全ての市町村にお伺いします（R5年11月1日時点）】

Q22. 健康診査での結果をデータ化して保管していますか。（KDBシステム等への登録などを含む）

-
- 1 保管している
 - 2 保管していない

【Q22で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q22-1 データ化した結果の入力先をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名：（ ）
会社名：（ ）
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他（ ）

Q22-2 データ登録のタイミングをお答えください。

-
- 1 定期的 → か月に1回
 - 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q22で、「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q22-3 データ化していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分
- 5 その他（ ）

Q23. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。

-
- 1 実施している
 - 2 実施していない

【Q23で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q23-1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。

-
- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数： ）
 - 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数： ）
 - 3 把握していない

Q23-2 質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。

- 1 質問票を使用する医療機関全てで入力
- 2 質問票を使用する医療機関の一部で入力
- 3 質問票を使用する医療機関全てで入力していない（別のシステムへの入力の場合等も含む）
- 4 把握していない
- 5 その他（ ）

Q23-3 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、市町村の工夫についてお答えください。
（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示 |
| <input type="checkbox"/> | 2 医療機関への説明会の実施 |
| <input type="checkbox"/> | 3 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成 |
| <input type="checkbox"/> | 4 被保険者に対する本人同意についての周知・広報 |
| <input type="checkbox"/> | 5 その他（ <input type="text"/> ） |

【Q23で、「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q23-4 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 関係団体・医療機関との調整が困難 |
| <input type="checkbox"/> | 2 経費の調整が困難 |
| <input type="checkbox"/> | 3 実施の方法・手順が不明 |
| <input type="checkbox"/> | 4 本人の同意が得られないと考えたため |
| <input type="checkbox"/> | 5 不要と判断したため →（その理由： <input type="text"/> ） |
| <input type="checkbox"/> | 6 その他（ <input type="text"/> ） |

Q23-5 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 実施に向けて準備中 |
| <input type="checkbox"/> | 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中 |
| <input type="checkbox"/> | 3 実施の予定はない |

【後期高齢者の健診対象除外者について、全ての市町村にお伺いします】

Q24. 健診対象除外者については、後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象※（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。

※「令和6年度以降における後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象となる健康診査事業の対象者等の取り扱いについて」（令和5年4月6日付け事務連絡）参照

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 令和5年度において同一の対象者である |
| <input type="checkbox"/> | 2 令和6年度以降同一の対象者とする予定である |
| <input type="checkbox"/> | 3 同一の対象者でない（予定も含む） |

5. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q25. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用） |
| <input type="checkbox"/> | 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用） |
| <input type="checkbox"/> | 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用） |
| <input type="checkbox"/> | 4 通いの場等での健康状態の評価 |
| <input type="checkbox"/> | 5 保健指導における健康状態のアセスメント |
| <input type="checkbox"/> | 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進 |
| <input type="checkbox"/> | 7 その他（ <input type="text"/> ） |
| <input type="checkbox"/> | 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指す⇒Q27へ |

【Q25で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q25-1 後期高齢者の質問票をどのように使用や説明をしているかお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 健診の結果通知表に問診結果が含まれている |
| <input type="checkbox"/> | 2 後期高齢者の質問票の回答結果の受診者の控えがある |
| <input type="checkbox"/> | 3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している |
| <input type="checkbox"/> | 4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している |

- 5 その他 ()
- 6 受診者へ説明等をしていない

Q26. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。(複数回答)

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管 (KDBシステム等への登録等)
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管 (KDBシステム等への登録等)
- 3 健康診査での結果を紙のまま保管している
- 4 通いの場で活用した結果を紙のまま保管している
- 5 その他 ()
- 6 保管していない ⇒Q28へ

【Q26で、「1」～「5」(後期高齢者の質問票を保管している)と回答した市町村にお伺いします】

Q26-1 後期高齢者の質問票を特定健診等データ管理システムに入力することで質問票データをKDBに搭載できることを知っていますか。

-
- 1 知っている
 - 2 知らなかった

Q26-2 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。(複数回答)

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用
- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 ()
- 7 保管しているが活用していない

【Q26で、「1」「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-3 データ化した結果の入力先をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力 (KDBシステムへの登録)
- 2 県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名: ()
会社名: ()
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 ()

Q26-4 データ登録のタイミングをお答えください。

-
- 1 定期的 → か月に1回
 - 2 不定期 (健診受診者発生ごとなど)

【Q26で、「3」「4」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-5 データ化していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分
- 5 その他 ()

【Q25で、「8 使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q27. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 ()

6. KDBの活用状況

【すべての市町村にお伺いします】

Q28. KDBを活用し、一体的実施以外の目的を含め実施していることをお答えください。（複数回答）

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | 1 地域の健康課題の把握 | ⇒Q28-2.△ |
| <input type="checkbox"/> | 2 指導等対象者の抽出 | |
| <input type="checkbox"/> | 3 事業実施（対象者の状況確認等） | |
| <input type="checkbox"/> | 4 事業評価 | |
| <input type="checkbox"/> | 5 その他（ <input type="text"/> ） | |
| <input type="checkbox"/> | 6 KDBを活用していない | ⇒Q28-1.△ |

【Q28で、「6 KDBを活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q28-1. KDBを活用していない理由をお答えください。（複数回答）

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 1 独自のシステムなどを使っている | ⇒Q29△ |
| <input type="checkbox"/> | 2 必要な機能がKDBにない | |
| <input type="checkbox"/> | 3 保健事業の主管課に端末が設置されていない | |
| <input type="checkbox"/> | 4 活用方法がわからない | |
| <input type="checkbox"/> | 5 その他（ <input type="text"/> ） | |
| <input type="checkbox"/> | 6 KDBを必要とする事業を行っていない | |

【Q28で、「1」～「5」と回答した市町村にお伺いします】

Q28-2. KDBを活用していると回答した場合その方法をお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 提供された帳票の参照 |
| <input type="checkbox"/> | 2 広域連合または国保連合会等による健康課題分析結果等の活用 |
| <input type="checkbox"/> | 3 KDBのデータの加工分析や他のデータとあわせた分析 |
| <input type="checkbox"/> | 4 その他（ <input type="text"/> ） |

【すべての市町村にお伺いします】

Q29. KDBを活用している場合、KDB活用において課題と感じていることについて、あてはまるものをお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 活用するためのシステム環境準備 |
| <input type="checkbox"/> | 2 必要な機能が不足している |
| <input type="checkbox"/> | 3 KDBの機能を十分理解して活用することが難しい |
| <input type="checkbox"/> | 4 データを二次加工するためのデータ編集に関するスキルが不足 |
| <input type="checkbox"/> | 5 データの二次加工のための統計分析に関するスキルが不足 |
| <input type="checkbox"/> | 6 データを見るための保健・医療・介護の専門知識の不足 |
| <input type="checkbox"/> | 7 個人情報保護に配慮した運用が難しい |
| <input type="checkbox"/> | 8 国保と後期の双方のデータを活用した分析が難しい |
| <input type="checkbox"/> | 9 一体的実施主担当部門において国保または後期または介護のデータの閲覧権限がない |
| <input type="checkbox"/> | 10 KDB活用に当たって、日常的かつ細やかに相談できる先・者がいない |
| <input type="checkbox"/> | 11 その他（ <input type="text"/> ） |
| <input type="checkbox"/> | 12 特になし |

7. ガイドライン等の活用状況

Q30. 次の①、②のガイドラインについて、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

① 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000605507.pdf>

- 1 活用している
2 活用していない

■ 活用していない理由（自由回答 ※任意回答）

② 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版補足版

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000918003.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用していない

■活用していない理由（自由回答 ※任意回答）

以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です

※厚生労働行政推進調査事業補助金（政策科学推進研究事業）（令和5～7年度）

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、市町村名等が特定できる形での公表はございません。

研究班の詳細：https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhokokusyo_koreisya

【I. 令和4年に国保中央会よりリリースされた「一体的実施・KDB活用支援ツール」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q31. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 抽出したデータの提供を受けて活用している
- 3 使うことを検討中である
- 4 使う予定はない
- 5 未定 ⇒Q32へ

【Q31で、「1」～「3」と回答した市町村にお伺いします】

Q31-1 どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（ ）

Q31-2 一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版（国保中央会作成）を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

【Q31で、「3」～「4」と回答した市町村にお伺いします】

Q31-3 一体的実施・KDB活用支援ツールを使用していないが、ツールと同一条件による抽出を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【II. 研究班が作成した解説書（抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1）について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q32. 一体的実施の保健事業計画や、一体的実施・KDB活用支援ツール活用の上で、本解説書は役に立っていますか。

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

⇒調査は終了です。エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください

【Q32で、「1」～「4」と回答した市町村にお伺いします】

Q32-1 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。

■ 解説書について、お気づきの点（自由回答 ※任意回答）

**以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。
フェイスシートで、エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください**